

郷土研通信



発行：てしかが郷土研究会 北海道川上郡弟子屈町中央3丁目2-10
発行者：松橋 秀和

シラカンバ
アイヌ語：タツニ、キタツ

第5回月例会の様子

出席者（敬称省略）

平塚一明・山本正裕・斎藤敬子・小林俊夫・高野翔吾・安藤心・荻野峻宏・山本広・松橋秀和

ゲスト

小見山貴広副館長・角田美波

ー会員の動きー

小見山副館長：「ふるさと歴史館」の活動について
・川湯中学校の出前授業で「人物からたどる弟子屈町」、弟子屈小学校4年生の出前授業では「弟子屈町獅子舞の歴史」を行った。詳しくはホームページに掲載。

小林氏：弟子屈に縁のある方が書かれた書籍が沢山ありそうです。調べて一覧にしていずれ皆さんに提示して、会員からの情報もいただきたい。

松橋氏：過去、当会が町の広報誌で継続していた「むかし

むかし」をPDFにした。その一部を文字起しをしている。A5サイズの冊子状にして会員限定で見られるように作業をしている。

ー勉強会ー

東北一人旅を

荻野さんが講演

荻野峻宏さんが八戸〜石巻まで約400kmを一人徒歩の旅をしてきた「みちのく潮風トレイル体験記」を話された。

荻野さんが一人歩き旅をしようとした動機は、環境省が提唱している釧路湿原・阿寒摩周国立公園・知床国



立公園を結ぶ「ロングトレイル」構想へ参加していて、「歩くとは何か？」という疑問からであった。

道中では地元の人たちのあたたかい心にふれ、美しい景色にであい、体調がいい時はポジティブな、悪い時はネガティブなことを思い、自分との対話しながら歩いた。この旅で体得したのは「自分自身がどう生きたいのか」ということを考えることだと語られた。

講演は時間ギリギリまで会員から、道中の様子を聞く質問や松浦武四郎や伊能忠敬の仕事も長大なロングトレイルだったなど感想が語られ、楽しく有意義でいろいろと考えさせられた勉強会であった。

筆者は紹介された画像の中で印象に残ったのは、次の津波から生活を守るために後方に退く、それでも生活のため海に近づくなど、その住む住民たちの成り立ちや考え方の違いによって震災の後の復興（町づくり）の仕方が違うことであった。

震災の復興と比較することはできないが、わがマチに住む人たちがこの町の「町づくり」をどう考え、これから先どこに進もうとしているのか。郷土研究会の活動も私たちににらにその答えを探す作業なのだろう。荻野さんをお話を聞いて、フツと思った

年末の食事会

前回の月例会で「このまま今年一年を締めくくるのは…。とのことで、一二日に摩周駅間の「ぼっぽ亭」で開かれました。

当日は、多くの会員が集まり例会とは違ったお話が交わされ、会員同士の距離が一段と縮まったのではないでしようか。

新年会の話もでたが…。



次回の月例会

令和六年一月二四日(水)

午後七時から

ふるさと歴史館

(摩周観光文化センター内)

勉強会は、

斎藤敬子さんの

(仮題)「松浦武四郎ー

クッシヤロ・コタン滞在記」

です。乞うご期待！

「むかしむか史」の再開について

永田洋平氏が昭和51年から「ミニ町史」「町史一口メモ」を町の広報誌に掲載された著述がある。その後、元摩周観光文化センター資料室長・元弟子屈町図書館長をされていた種市佐改氏が平成2年5月から、弟子屈町の歴史などを伝えようと始められた「むかしむか史」「弟子屈町むかし写真館」が町の広報誌に連載された。

これをきっかけに以後

「むかしむか史」がシリーズとして連載が始まった。

「むかしむか史」はサブタイトルを付して「てしかが文学散歩」「てしかが歴史写真館」として連載された。

が、平成31年1月の339号「むかしむか史」でしかが歴史写真館連載終了へ」

を最後にページが閉じられた。終了した理由は詳らかに承知していないが、いずれ当時の関係者からその事情が語られることと思う。

令和4年12月からてしかが郷土研究会が再スタートした。改めて、会員の弟子屈の歴史や風土(自然環境やその中で紡いだ文化など)

を学習する材料、研究成果の発表場所として「むかしむか史」を再開したい、と思うのである。

会員がそれぞれのテーマで学習・研究した成果が蓄積されてきたら、何らかの方法で広く町民へお知らせすること、てしかが郷土研究会の活動が認知させることにもなり、それよりも町民自身が「この町をどうしようか」と考える材料と

したいのである。

この目的を達成するため「郷土研通信」の余白を利用して、それぞれの研究成果を発表する場としたいのであるが、会員皆さんのご意見を賜りたい。

なお、左記の資料は弟子屈町図書館で保存している。これをPDFにして、てしかが郷土研究会で所蔵しているが、閲覧する機材その他がまだ揃えられていない。紙ベースとして会員が閲覧できるように準備を進めている。(松橋)

参考資料

「ミニ町史」

昭和51年5月から昭和52年12月まで16編

「町史一口メモ」

昭和53年1月から昭和53年10月まで9編



「むかしむか史」

昭和62年7月から平成8年3月まで95編



「弟子屈むかし写真館」



平成2年5月から平成3年8月まで15編

「むかしむか史ーてしかが歴史散歩」



平成10年10月から平成13年4月まで31編

「むかしむか史ーてしかが歴史写真館」



平成13年5月から平成31年1月まで213編